

去る5月31日、一般社団法人国連ユニタール協会前理事長の大島賢三が永眠いたしました。生前のご厚誼に心から御礼申し上げます。後任として、佐々木茂喜が就任させていただく運びとなりましたので、謹んでご報告申し上げます。今後とも、当協会一同事業に全力を尽くす所存でございますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大島は、当協会設立以前から、出身の広島市に拠点をもつ国連ユニタール広島事務所の事業を応援しており、公開セッションなどを通じて地域の方や学生たちとの交流にも心を砕いておりました。2019年の協会設立からは理事長としてユニタールの資金調達や広報、パートナーシップ等の分野で精力的に活動しており、今年新たに、ユニタール持続可能な繁栄局諮問委員に就任し、ますますユニタールの活動に関わっていかうとしていたところでした。

ニキル・セス国連ユニタール総代表からも、このようにお言葉をいただいております。

「大島(元)大使はたぐいまれな外交官で、すばらしい方でした。ニューヨークで国連大使や国際連合事務次長(人道問題担当)として活躍されている頃から存じあげておりますが、穏やかで、思いやりにあふれ、決断力のある方です。

ユニタールのかけがえのない友であり、私たちを力強く支え続けてくださいました。本当に悲しいです」

故人を偲び、ここにあらためて感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。



佐々木茂喜 新理事長からのご挨拶

故大島賢三前理事長の遺志を継ぎ、この度就任いたしました佐々木茂喜でございます。前任者の存在と功績の大きさに、あらためまして敬服いたすと同時に、責任の重大さに身の引き締まる思いです。



当地広島には、悲惨な歴史から見事に甦った奇跡の復興と、平和への祈りと願いの象徴という背景があります。また広島は産・官・学・民が一体化している丁度良い規模感と、海・山・川・島・街、全てを兼ね備えた地理的なバランスの良さを、兼ね備えています。紛争や災害による、貧困等の困難をかかえた地域から、プログラムに参加する多くの方に、復興への希望と癒しを提供できる土地であると確信しております。

しかしながらユニタール協会の知名度も存在感も、これからの感があります。広島に生まれ育ち両親がともに被ばく者であった私にとって、非常に意義深い役割であります。ジュネーブ本部、ニューヨークに次いで、3番目に国連ユニタールの事務所が広島にあることは、日本にとって誇りに思ふべきことだと感じております。広島はもとより国内での認知度を高め、支援者・応援者のネットワーク構築にも努めて参ります。

日本の皆様と国連ユニタールとの橋渡しに役立つことができるよう努力して参りたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 一般社団法人国連ユニタール協会 理事長 佐々木茂喜

上田みどり 新副理事長からのご挨拶

この度、当協会の副理事長に就任いたしました上田みどりです。故大島賢三前理事長の遺志を継ぎまして、今後とも当協会の活動が意義深いものとなるように力を注いで参りたいと考えております。また、会員の皆様には平素より当協会運営のためにご支援を賜り、心より感謝申し上げます。現在の新型コロナウイルスのパンデミックは、世界中の多くの人を苦境に追い込んでおり、これまで世界が進めてきた様々な分野での歩みを妨げ後戻りさせている、とさえ言われることもあります。今後も、より一層意欲的に「誰ひとり取り残さない」支援を実施するため、ユニークかつ創造的な研修及び学習方法の提供を通じて、国際平和の理念の推進に貢献していく所存です。皆様とユニタールとの橋渡しとして、また、様々な立場の団体や個人の皆様が心を合わせて一丸となって社会問題に取り組むことができるように、力を尽くして参りたいと考えておりますので、引き続き当協会の活動にご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人国連ユニタール協会 副理事長 上田みどり

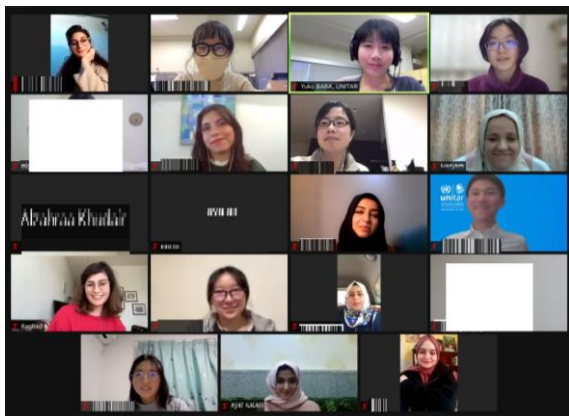


CONTENTS

- P1 ... ご挨拶
- P2 ... Waffle Camp 他
- P3 ... 青少年大使 他
- P4 ... クラウド・ファンディング 他



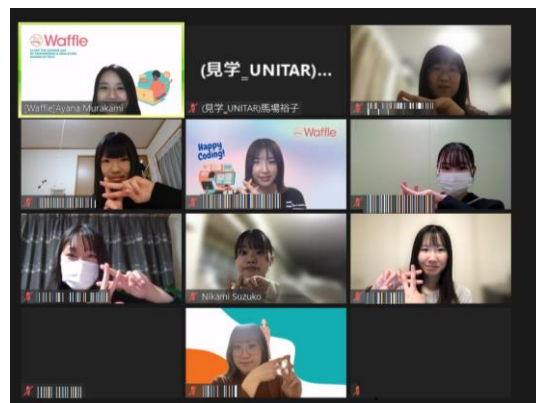
Waffle Camp × SDGs ～コード×SDGsで可能性無限大～



広島県内の女子高校生を対象に、SDGsの概念とともにコーディングやホームページ作成の基礎的なスキルについて学ぶワークショップを、2022年1月から開催しています。（一般社団法人Waffle、国連ユニタール、当協会共催）。県内の女子高校生17名が2期に分かれてワークショップに参加しています。ジェンダーによる格差は様々な分野に見られるのが現状ですが、世界的にICTに関する高等教育を受ける人の男女比を見ると、女性は全体の3%と極端に低い数字になっています（ユネスコ、2014-16年）。

今回のワークショップは、SDGs研修とWaffle Campの計2日間に分かれています。SDGs研修では、SDGsの視点で世界や身の回りの出来事について考える方法を身に着けました。また、ユニタールの研修修了生を通じて、イラクでプログラミングを学んでいる女性たちとの交流会を開催し、ジェンダーに関する文化的・宗教的価値観の異なるイラクにおいて理数系分野を学ぶことの困難さやそれでもくじけないイラクの女性たちの思いを体感しました。高校生たち自身も、将来の夢を英語で説明したりしました。Waffle Campでは、初めてコーディングを学ぶ参加者もいる中、Waffleのメンターの温かいサポートを受け、SDGsに関するウェブサイトを作っていました。

参加者は、ワークショップ終了後もよりよいウェブサイトを目指して取り組んでいます。この中から5名に、3月8日に行われる公開セミナーで、ウェブサイトについて発表してもらう予定です。本セミナーはこの発表とパネルディスカッションの二部構成となっており、第二部ではWaffleの共同代表齋藤明日美氏、イラクで女性のプログラミング教育を提供しているShe Codes Too代表のRaghad Hav氏、国連ユニタール親善大使の為末氏が討論を行います。



【最終報告会】

日時：3月8日（火）17時～19時
言語：日本語・英語（同時通訳）

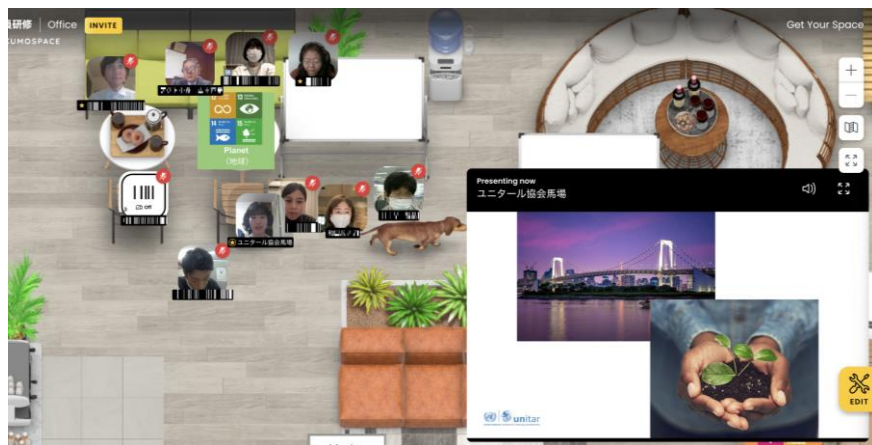
媒体：Zoom

事前申し込みが必要です：

<https://bit.ly/3rqVILw>

*国連ユニタール協会HPからご登録できます。

SDGs研修の実施



会員の皆様を対象としたSDGsに関する2021年度の研修事業を1月に実施しました。「SDGsという言葉は知っているけど、いまいち内容がつかめていない」「社内に温度差がある」「SDGsに取り組んでいる他社とつながりたい」— そのような声にこたえるべく、スマートフォンによるオンライン研修と交流会「SDGs Meet Up」でプログラムを構成。各団体の状況に応じてSDGsに関する事業を実施するためのロールプレイングを行いました。

オンライン研修の部分については、新規のご入会を含めて、会員の皆様には無期限で受講していただけます。詳細は事務局まで。



青少年大使 SDGs 最終報告会

2021年度国連ユニタール広島青少年大使22名が、コロナ後の世界を描き、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、意欲的に取り組みました。今年度のコンセプトは、「若者のアイデアを社会に注入する」。4つのグループに分かれてそれぞれ選んだSDGsのゴールについてプロジェクト案を作成しました。7月から3か月間、様々な分野の講師から指導を受け、香港で実施されている国連ユニタール青少年大使アジア・太平洋プログラム参加者とのオンライン交流会も。既存の概念にとらわれない自分たちなりのアイデアを発掘することに努めました。

ワークショップには、慶應義塾大学大学院の高木超特任助教や、一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)、NEC、H&Mジャパン、テレビ新広島の講師にも加わっていただきました。10月24日に実施した成果報告会では40名弱の視聴者の方を前に、グループで考えたSDGsプロジェクトについて発表。「高校生とは思えない洞察に満ちたプロジェクト案だった」などの評価をいただきました。

本事業は、国連ユニタール持続可能な繁栄局・広島事務所と国連ユニタール協会が広島県内の高校生を対象に共同で実施しており、今年度で11年目となります。



《生徒からの研修終了後の声(一部抜粋)》

- ・ 講師の方の話や同年代の人と交流を通してたくさんのことが学べてとても成長できました。そして、話し合いなどを進める中で自分の意見をしっかりと相手に伝えられるようになったのがとてもうれしかったです。3か月間は本当にあっという間でとても充実していました。
- ・ 今回参加できて本当に良かったです。3か月前までは赤の他人だったみんなと、ひとつのプロジェクトを仕上げたのは本当に達成感がありました。

《講師の方々からの声》



NEC コーポレートコミュニケーション本部
池田俊一さん

世界には様々な課題があり、自分で何ができるのかぜひ多面的に考えてほしいと思います。どんなアイデアも実現できそうだと思う子どもたちと、現実的な思考をとらざるを得ない大人のはざまで、高校生ぐらいの年代は自由な発想と現実的な視点とを両立できる、ユニークな世代。SDGsの目標年である2030年には、20代半ばから後半ぐらいの年齢となり、これから世界を作っていく方たちです。世界の課題がますます多様化する中で、技術起点ではなく「課題」起点で事業を考えられないと、企業は生き残れなくなってきました。企業にとって、改めてその存在意義や目的をはっきりさせることが重要になっています。SDGsが身近になっている世代が社会の主流になる10年後20年後、世の中は大きく変わっていくと思います。生体認証を活用して国民IDを発行していくというインドでの事例も紹介させていただきましたが、事業としての成り立ちの中で重要な点は何か、ということを考えることも大切。様々なステークホルダーとのパートナーシップ、つまりマルチステークホルダーパートナーシップの下、課題に取り組むことは、SDGsのゴールの一つでもあり、とても重要です。世界中でますます多様化、深刻化している課題に、直接的でも間接的でも、あえてリスクをとってチャレンジしていく人が増えると良いなと思います。



H&Mジャパン
CSR/サステナビリティ・コーディネーター
山浦誉史さん

より多くの人に関心を持ってもらうためには、いろんなアプローチが必要だと思います。サステナビリティというのはどこか遠いところで誰かがやっているもの、というイメージではなく、自分事にして捉える必要がある。また、サステナブルにつながることをしたいけど、行動に移すまでにはいたらないというマインドと行動のギャップについても指摘されています。私たちはファッション企業なので、私たちのビジネスを通してサステナビリティに貢献するのが一番効果的だと思います。ファッションで楽しい気分になるものが、当たり前になりサステナブルなものであるというアプローチによって、皆さんが魅力的に感じてくれて、浸透していけば願っています。世界を変えるのではなく、まずは自分の身の回りの物や行動を変える。いらなくなった洋服を捨てるのではなくリユース、リサイクルできるところを探すだけでも、循環型経済の考え方が育っているという証拠だと思う。新しい情報や一連の流れを冷静に見て分析することが重要なので、研修などを通じて多角的な視点を育むことは重要です。私たちのブランドもジェンダーや年齢などを問わずすべての人にファッションを届けるという思いを持っていますので、僥倖ながら身近に感じていただいて、きっかけにいただけるならうれしいです。



公開セッション：核兵器廃絶と持続可能な未来へ

8月6日に、核兵器廃絶に関するオンラインでの公開連続セッションを開催しました。国連軍縮部(UNODA)、広島県、へいわ創造機構ひろしま(HOPe)、ユニタールとの共催で、約150名にご参加いただきました。第1セッション「核兵器廃絶と持続可能な未来の実現に向けて～ひろしまからの呼びかけ～」では、ユニタール総代表のニキル・セスさんの司会により、国際連合事務次長・軍縮担当上級代表の中満泉さん、広島県の湯崎英彦知事、チャタムハウス国際安全プログラムディレクターのパトリシア・ルイスさんが討論。第2セッション「軍縮に向けた民間セクターの協働」では、Microsoft社デジタル外交シニア・ディレクターのカジャ・シグリックさん、日本生活協同組合連合会の新井ちとせ副会長、株式会社テレビ新広島の箕輪幸人代表取締役社長、ユニタール持続可能な繁栄局長・広島事務所の隈元美穂子さんが参加しました。ユニタール親善大使の為末大さんと隈元美穂子さんとの特別対談を経て、第3セッション「軍縮に向けた若者たちの協働」では、為末大さん、ユニタールインターンの菅野計馬さん、赤井理子さん、



写真は第1セッション(上段左、右) | 第2セッション(中段) | 第3セッション(下段)

Youth4Disarmament(軍縮のためのユース)のクリステル・パークカットさん、高校生平和大使の大隈ゆうかさ、楠康生さん、SDGs - SWYの落合航一郎さん、50cm.の内野そらさんが今後の展望を語り合いました。

クラウドファンディングの成果

国連ユニタール持続可能な繁栄局・広島事務所が20年間にわたって人材育成を通じた支援を提供してきたアフガニстанは、大きな変化の時にあり、多くの人々が混乱の中で不安を抱えています。現地からの声に少しでも寄り添える方法はないかと、新たな研修コースの開発・提供に充てるための資金をクラウドファンディングの形で当協会が主導して募りました。

10月6日から約1カ月の間、ウェブ上の寄付プラットフォーム「Syncable」や当協会のウェブページを通じて、ファンドレイジングキャンペーンを行い、約83万円のご寄付をいただきました。温かいご支援を賜りましたこと、心より感謝いたします。皆さまからいただいたご支援を最大限に活用し、アフガニстанの人々、とりわけ学びの機会を狭められがちな女性にオンラインでの研修機会を拡大し、就業や起業へのサポートに尽力してまいります。

お知らせ

《理事会》

- 2021年3月29日 テレビ会議での臨時理事会により、2021年度事業計画・収支予算書等を承認。会費等に関する規程の変更を承認
- 2021年6月24日 テレビ会議により、2020年度事業報告及び財務諸表を承認。大島前理事長の逝去を受け、副理事長(上田みどり)の選任を承認
- 2021年7月28日 書面決議により、上田みどりの理事長選任を承認
- 2022年1月12日 テレビ会議により、佐々木茂喜の理事長、上田みどりの副理事長選任を承認、広報に係る規程の新設を承認

《社員総会》

- 2021年6月24日 テレビ会議により、2020年度事業報告及び財務諸表を承認。理事(上田みどり、勝又美智雄、池田秀雄、湊晶子)及び監事(山本新太郎)の選任を承認
- 2021年11月18日 書面決議により、小松節子及び佐々木茂喜の理事選任を承認

ご入会・ご寄付をご検討の方がおられましたら、お声掛けのほどよろしく願いいたします。ユニタールのメルマガ、協会のInstagram、ツイッターもご活用ください。

心から御礼申しあげるとともに、活動の充実に一層励んで参ります。

2022年1月までに、新たに次の皆様に賛助会員に加わっていただきました。お申し込み順・団体様のみ。〆

「ご支援ありがとうございます」

共栄美装株式会社 ACT KYOEIBISOU CO., LTD.

ひろしま管財株式会社

OTAFUKU 小さな幸せを、地球の幸せに。

毎日個別塾

ファイブ・デイズ 5-Days

tssテレビ新広島

eTAXI

DNP 大日本印刷

ANA CROWNE PLAZA

HTV 広島テレビ

0120-935-472

受付時間: 13:00~22:00 (日祝除く・テスト期間中は開講)

